祝 簗川ダム 竣工

岩手県が建設を進めてきた簗川ダム完成し、竣工式が7月18日行われた。簗川ダムは、北上川水系簗川における簗川総合開発の一環として洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水の確保および水力発電を目的に建設された、県営ダムとしては最大の総貯水容量1910万立方㍍を誇る多目的ダム。同ダムの完成により、快適で安全・安心に暮らせ、地域の形成に大きく貢献することが期待される。

岩手県知事
達増　拓也

ごあいさつ

盛夏の折「県都盛岡」において、簗川ダム・簗川発電所竣工式を迎えることができました。これもひとえに、先祖伝来の貴重な土地をご提供いただきました地権者の皆さまの多大なご協力や、国土交通省ならびに経済産業省をはじめとした関係機関の皆さまの格別なるご支援の賜物であり、深く感謝を申し上げます。

昨今、地球規模での気候変動が進む中、全国各地において毎年のように広範囲に激甚な被害をもたらす豪雨災害が発生しております。簗川流域においても、平成14年7月の台風6号に伴う大雨により堤防の一部が崩落するなどの災害があり、抜本的な治水対策が求められておりました。

簗川ダムは、流域住民の生命と財産の洪水被害からの防御や河川環境の保全、盛岡市および矢巾町の水道用水の確保のほか、企業局による水力発電を目的として建設された多目的ダムであります。

簗川ダムが、安全で快適な郷土の創造と、当地域のさらなる飛躍の礎になるものと確信するとともに、水と緑あふれる新たな憩いの場として潤いを与えてくれるものと期待し、また、簗川発電所が、本県の再生可能エネルギーによる電力自給率の向上と、CO_2フリー電源として二酸化炭素の排出量削減に寄与し地球温暖化防止へ貢献し続けるものと期待しております。

県といたしましては、流域のあらゆる関係者が協働して治水に取り組む「流域治水」を推進するため、今後も地元の皆さまと手を携え、最善の努力を重ねてまいりますので、関係各位の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

竣　工　式

流域の安全・安心へ

岩手県が整備を進めてきた簗川ダムの竣工式が7月18日、盛岡市川目の現地で行われた。県営ダムでは最大の貯水量を誇る同ダムの完成により、洪水対策など流域住民の安全・安心に大きな期待が寄せられる。堤体工は清水建設・鴻池組・平野組JVが施工した。

式典には約80人が出席。達増拓也知事は「竣工により、安全で快適な郷土の創造と地域のさらなる飛躍に大きく貢献するものと確信する」とあいさつ。

来賓の東北地方整備局の稲田雅裕局長は「流域の安全と安心の向上が図られるとともに、地域の経済基盤の安定にも多大な効果を発揮し、地域の発展に貢献するものと期待する」と述べた。その後、関係者による記念碑除幕やテープカット、くす玉開披が行われ、完成を祝った。当日は、簗川発電所も稼働を開始した。

■除幕式

■テープカット

堤高77.2㍍、堤頂長242.7㍍の重力式コンクリートダムとなる簗川ダムは、総貯水量1910万立方㍍。県営ダムでは最大の貯水量を誇る。簗川の河川流量を軽減し、地域を守るための洪水調節を行うほか、下流の既得用水の取水や、水道用水の確保などの役割を担う。

1978年4月に予備調査に着手した後、92年4月に国庫補助によるダム建設事業として採択され、簗川ダム建設事務所を開設。2014年12月に本体工事の請負契約を締結し、15年5月に本体工事を開始し、17年9月に定礎式が行われた。その後、試験湛水を経て竣工に至った。ダム建設事業費は約530億円となっている。

県企業局が整備した簗川発電所は、簗川ダムより取水し、ダム直下で発電する。最大出力は1900㌔㍗。売電電力量は一般家庭約3600世帯分に相当する。

ダム計画諸元	
形式	重力式コンクリートダム
堤高	77.2m
堤頂長	242.7m
堤体積	230,000㎥
堤長幅	5.0m
集水面積	117.2k㎡
湛水面積	0.97k㎡
総貯水量	19,100,000㎥
有効貯水量	16,700,000㎥
洪水調節容量	11,700,000㎥
不特定容量	4,600,000㎥
水道用水容量	400,000㎥
治水安全度	1/100
計画降雨	210mm/2日
基本高水流量	780㎥/s
ダム地点計画高水流量	580㎥/s
ダム地点設計洪水流量	1,500㎥/s
不特定かんがい	25.85ha
水道用水	5,000㎥/日

簗川ダム建設の歩み

- 1978年4月　簗川ダムの予備調査（県単独費）に着手
- 1987年4月　国庫補助による実施計画調査ダムとして採択
- 1992年4月　国庫補助による建設事業として採択
- 1993年3月　ダム建設事業に関する基本協定の締結
- 1993年9月　ダム軸基本設計会議においてダムサイトの決定
- 1993年12月　水源地域対策特別措置法に基づくダム指定
- 1995年12月　湛水区域における補償基準提示
- 1996年11月　湛水区域における補償基準妥結調印
- 1997年12月　簗川ダム建設事業全体計画の認可
- 1999年4月　付替国道106号本線工事着手
- 2001年10月　付替県道盛岡大迫東和線本線工事着手
- 2007年3月　ダム建設事業に関する基本協定の変更、簗川ダム建設事業全体計画変更の認可
- 2013年3月　付替国道106号供用開始（付替県道暫定供用）
- 2014年12月　簗川ダム建設（堤体工）工事の請負契約締結（受注者：清水建設・鴻池組・平野組特定共同企業体）
- 2015年4月　簗川ダム堤体工工事着手
- 2015年5月　堤体工工事安全祈願祭・起工式
- 2015年6月　岩手県企業局が簗川ダムへの発電参加を表明
- 2016年2月　転流式　転流船進水

■起工式

■転流式（転流船進水）

- 2016年4月　基礎掘削工着手
- 2017年4月　本体コンクリート初打設
- 2017年9月　定礎式

■堤体コンクリート初打設

■定礎式

- 2018年5月　本体工コンクリート打設10万㎥到達
- 2019年4月　堤体工コンクリート打設20万㎥到達

■10万m³到達

■20万m³到達

- 2019年9月　堤体コンクリート打設完了式
- 2019年12月　2次転流
- 2020年10月　試験湛水開始
- 2021年7月　竣工

■最終打設

簗川ダム建設（堤体工）工事　　清水建設・鴻池組・平野組　特定共同企業体

子どもたちに誇れるしごとを。
清水建設株式会社
執行役員東北支店長　清水　康次郎
東北支店／仙台市青葉区木町通一丁目4番7号　TEL.022(267)9111

まじめに、まっすぐ
KONOIKE
常務執行役員 東北支店長　加藤　康
東北支店／仙台市青葉区中央二丁目9番27号　TEL.022(266)1275

HIRANO GUMI 平野組

株式会社 石井組
代表取締役社長　石井　映雄
〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-6-4　TEL.03(3413)2451
http://www.ishii-co.jp/　FAX.03(3413)2345

日本基礎技術株式会社
JAPAN FOUNDATION ENGINEERING CO.,LTD.
東北支店
支店長　竹中　宏司
〒984-0032 仙台市若林区荒井6-2-12　TEL.022(287)5221
https://www.jafec.co.jp　FAX.022(390)1263

NITTOC 日特建設株式会社
代表取締役社長　和田　康夫
〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-10-6　TEL.03(5645)5050㈹
https://www.nittoc.co.jp　FAX.03(5645)5051

丸磯建設株式会社
東北支店
常務取締役支店長　菊間　勝己
〒980-0871 仙台市青葉区八幡7-5-8　TEL.022(226)0307
https://www.maruiso.com　FAX.022(226)1478

mutsumi 株式会社 ムツミ
代表取締役社長　城　芳幸
本社／〒564-0051 大阪府吹田市豊津町2-30　TEL.06(6337)0048㈹
http://www.kk-mutsumi.co.jp　FAX.06(6337)0072

株式会社 睦商事
代表取締役　西岡　義雄
〒537-0012　大阪市東成区大今里4-26-11
TEL.06(6981)1744　FAX.06(6981)6797

marsima　水を活かし、水に生きる。
ダム・河川用水門　除塵設備　水処理設備　水環境設備
株式会社 丸島アクアシステム
取締役社長　島岡　秀和
本社　〒540-8577 大阪市中央区谷町5-3-17　TEL.06(6766)3300
http://www.marsima.co.jp　FAX.06(6766)3310

「簗川ダム取水放流設備（放流設備工）工事」
西田鉄工株式会社
代表取締役社長　大渕　憲二
支店長　敦賀　雅倫
本社・工場／〒869-0494 熊本県宇土市松山町4541
TEL.0964 (23) 1111　FAX.0964 (26) 1000
仙台支店／〒980-0802 仙台市青葉区二日町3-10グラン・シャリオビル
TEL.022 (222) 8341　FAX.022 (212) 1319